

平成26年度「起業家精神育成事業」について

栃木県立今市工業高等学校建設工学研究部

1 テーマ

『日光杉』 ～銘木の継承～

2 テーマ設定の理由

日光杉の継承者減少、認知度の低下などを憂い、日光杉を活用し日光杉の良さを全国にアピールし、地域の活性化を図ることができる起業家となる。

3 はじめに

私達が目指す目標は、『日光杉の木村の建設』とそして『誇り』です。
日光杉の木村には、教育エリア（建築士育成、大工養成、杉の研究所、各種研修施設）・宿泊エリア・式場式典エリア・販売エリア（食事・商品・体験）・公園エリアを設置し、『学ぶ・遊ぶ・伝える』をモットーとし、全国から建築を学ぼうとする人々が集まり、また、日光杉の木村から全国へ建築を発信して、栃木県日光市を建築の聖地とし、さらには、一般の方々も気軽に訪れる事ができる観光施設としたい。
そして、私達が『つくり・育てる』ものは、日光杉の木村を通して栃木県民としての、日光市民としての『誇り』です。

4 計画(案)

いきなり日光杉の木村を建設する事は無理な事です。そこで私達は段階をおって実現に向かいたいと思います。

今年度実施予定

その1 興 味

- ・多くの人々に、日光杉を知ってもらい、関心を持ってもらうためには、日光杉を利用した商品を作成し販売を行う。
- ・起業家としての心得を学ぶ。

次年度以降実施計画

その2 可能性

- ・日光杉が人体や精神に与える効果を研究する。
- ・大スパン構造物への使用（強度・性能）

その3 浸 透

- ・日光杉をより身近なものにするために、屋内公園を建設し多くの人々に理解をしてもらう。

その4 教 育

- ・県民だけにはとどまらず、全国から人々を集め、建築士・大工・研究・研修、を行い、その人達が地元に戻り、日光杉を広めてもらうための教育施設を設ける。

その5 蘇 る

- ・日光杉の木村を通して建築の発信地となり、そこに栃木県民としての、日光市民としての誇りが生まれる。

5 協力団体・企業

私達が描く構想は、私達の力だけではどうしようもありません。ただ、今となっては
この想いは誰にも負けません。この想いで大人の方々への協力を動かしたいと考えてい
ます。

- (1) 協力団体・企業
 - ・栃木県木材業協同組合連合会 (栃木県全木材業加入)
 - ・とちぎ木づかいプランナー協会 (上都賀地区全木材業加入)
 - ・株式会社大和木材 (材料提供及び指導・性能研究指導)
 - ・日光商工会議所 (販売場所の斡旋及び指導)
 - ・星野工業株式会社 (商品開発、製作指導)
 - ・株式会社感歴プロジェクト (起業家精神・経営者としての指導)
 - ・株式会社日本設計 (日光杉の村建設計画指導)
 - ・株式会社イケダ (商品製作指導)
 - ・足利工業大学 (性能研究指導)
 - ・クリエイティブディレクター宇賀地裕子様 (商品・広告デザイン指導)
- (2) 協力団体・企業 (予定)
 - ・株式会社建築資料研究社日建学院 (建築士教育)
 - ・栃木県建築士会 (建築士教育)
- (3) 協力団体・企業 (検討中)
 - ・医療機関関係
 - ・旅行会社関係

6 最後に

多くの団体・企業の方々すでに賛同をいただき、上記以外の企業の方々からも応援
と激励をいただき、今後も協力団体・企業は増えて行きそうです。

私達高校生の、夢のような想いも本気で取り組めば伝わる事を実感し、深く感謝申し
上げるとともに、責任の重さを感じております。

栃木県民として、日光市民としての誇りのために、私たちは頑張ります。

◇起業家精神育成事業とは

起業家精神育成事業は、事業実施校（団体）の企画に基づき、企業の協力を得な
がら販売実践や企画シミュレーションを行うことにより起業家精神を養い、グロー
バル社会に対できる人材を育成することを目的とする、栃木県教育委員会主催の事
業です。

◇起業家精神育成事業コンペティション結果

7月28日(月曜日)13時00分から16時50分に、県庁研修館講堂において栃木県
教育委員会主催「平成26年度起業家精神育成事業コンペティション」が開催され、
以下の建設工学研究部の11名が参加いたしました。

その審査において、平成26年度起業家精神育成事業実施校に決定いたしました。

建設工学科2年	青木 優香	池田 紅子	猪俣 舞	大場 祐太
	大橋 泰雲	中河優貴乃	山寺つぐみ	
建設工学科1年	小林真里雅	谷口 龍志	福田 千夏	村河 慧人